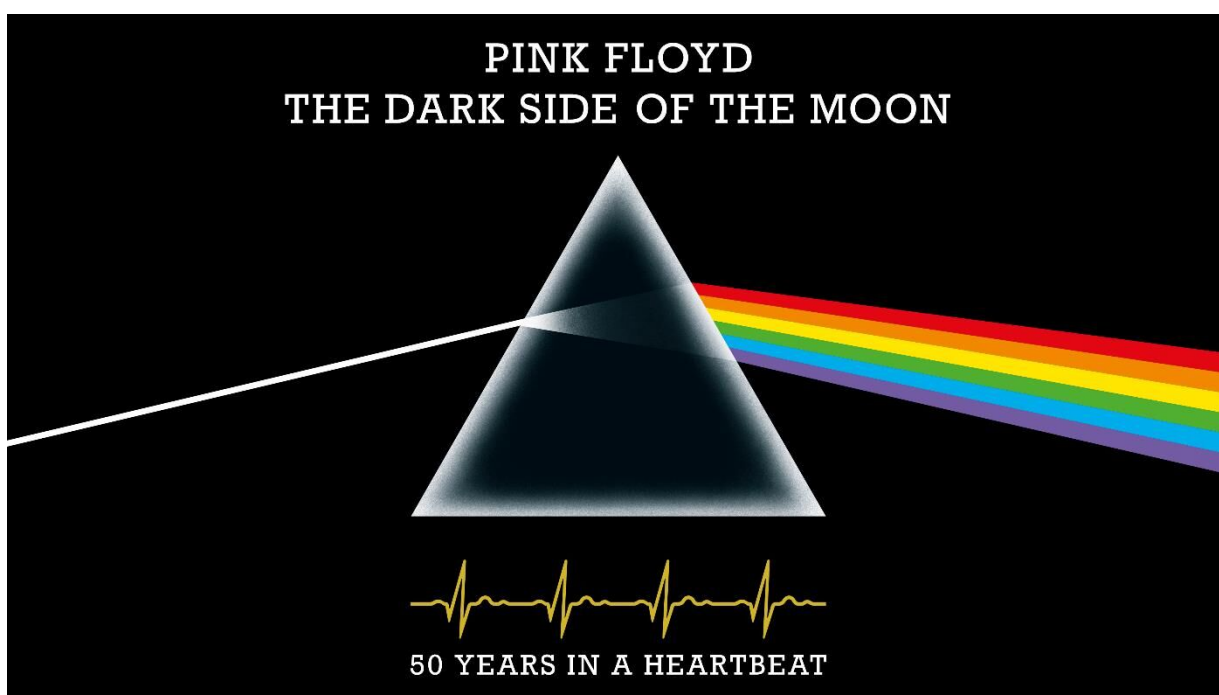


市政記者各位

令和5年7月24日
福岡市科学館

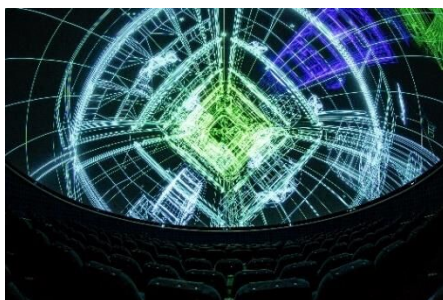
九州最速上映！ピンク・フロイドの名盤『狂気』が50年の時を経てプラネタリウムに蘇る
プラネタリウム特別上映会『ピンク・フロイド -The Dark Side Of The Moon』

2023年9月15日(金)–17日(日)の期間、ピンク・フロイド不滅の名盤『狂気(原題：The Dark Side Of The Moon)』の全楽曲を使用したプラネタリウム・ショー『ピンク・フロイド -The Dark Side Of The Moon』を上映します。本作品は、今年『狂気』が発表されて50周年を迎えたことを記念してイギリスで制作されました。今年6月に日本に初上陸(会場：東京)し、チケットは即日完売。ピンク・フロイドの音楽と映像に包まれる圧倒的没入感が話題の作品です。



九州最速上映！50年の時を経て『狂気』がプラネタリウムに蘇る

1973年2月27日、ピンク・フロイド8作目のスタジオ・アルバム『狂気』の初披露となる記者発表がロンドンのプラネタリウムで開催されました。プラネタリウムのドームには『狂気』の楽曲と共に、星や星座、宇宙のビジュアルが映しだされ、当時大きな話題を集めました。これをきっかけにアルバムは現在までに5,000万枚以上の世界的なセールスを記録しています。プラネタリウムと密接な関係を持つアルバム『狂気』。このアルバムの真価を体験する場所として、そしてピンク・フロイドがデビュー以来試みてきたヴィジュアルとサウンドの融合を体験できる場所として、プラネタリウムが最も適した空間であることは間違いないはずです。燦然と輝く不朽の名盤が50年の時を経て、プラネタリウム・ショー「The Dark Side Of The Moon」として、今蘇ります。



開催概要

プラネタリウム特別上映会「ピンク・フロイド - The Dark Side Of The Moon」

- 日 時 2023年9月15日(金)～9月17日(日) 各回約45分間
【15日(金)】 17:00の回 【16日(土)】 17:00の回／18:30の回 【17日(日)】 18:30の回
- 対 象 大人（推奨）※イベントの特性上、未就学児の入場はできません。
- 観 覧 料 自由席 一律 2,000円(税込)
- 観 覧 券 【先行販売】 2023年 8 月 5 日(土)16時～各投映前日16時まで WEB限定販売
※販売枚数に達し次第終了です。
【当日販売】 残席がある場合に限り、各投映当日 9 時30分～ 3 階総合案内/チケット
カウンターにて販売します。※先行販売で完売している場合、当日券はありません。
- 詳 細 https://www.fukuokacity-kagakukan.jp/dome_theater/2023/07/PinkFloyd.html

参考 ピンク・フロイド プロフィール

全世界で2億5千万枚以上のセールスを誇り、永遠にロック史に輝く”時代を超越する音芸術”ピンク・フロイド。サイケデリックで幻想的なサウンドと文学／哲学的な歌詞。実験性に溢れた録音手法や常識を超えたスペクタクルなステージング。常にアートと密着しながら、ロックの進化とともに歩み続け、いまもなおさまざまなシーンに影響を与え続けている。1967年『夜明けの口笛吹き』でデビュー。当時のメンバーはシド・バレット、ロジャー・ウォーターズ、リチャード・ライト、ニック・メイスン。シドが脱退後デヴィッド・ギルモアが加入。その後、『狂気』（1973）『炎～あなたがここにいてほしい』（1975）『アニマルズ』（1977）『ザ・ウォール』（1979）など数々の名盤をリリース。1986年ロジャー・ウォーターズが脱退、1987年以降はロジャーを除く残りの3人のメンバーで活動。2006年7月7日シド・バレットが死去。また2008年9月15日にはリック・ライトも死去。2014年『永遠(TOWA)』をリリースし、これがラスト・アルバムとなることを宣言したが、ウクライナ支援のため新曲「Hey Hey Rise Up」を2022年8月にリリース。2023年3月『狂気』が50周年を迎え、50周年記念盤として、3月24日に「豪華デラックス・ボックスセット」、「全曲演奏ライブ盤」が発売。そして、4月19日に日本独自の50周年記念盤『狂気-50周年記念SACDマルチ・ハイブリッド・エディション（7インチ紙ジャケット仕様）』が発売。

詳しくはピンク・フロイド日本公式：<https://www.pinkfloyd.jp/>



©Hipgnosis, Pink Floyd Music Ltd.

お問い合わせ先



〒810-0044 福岡市中央区六本松4-2-1 福岡市科学館

担当：穴澤・崎山・衛藤

メール：pr.fcsm@fukuokacity-kagakukan.jp

電話：(092) 731-2525（代表） FAX：(092) 731-2530

H P：<https://www.fukuokacity-kagakukan.jp>

